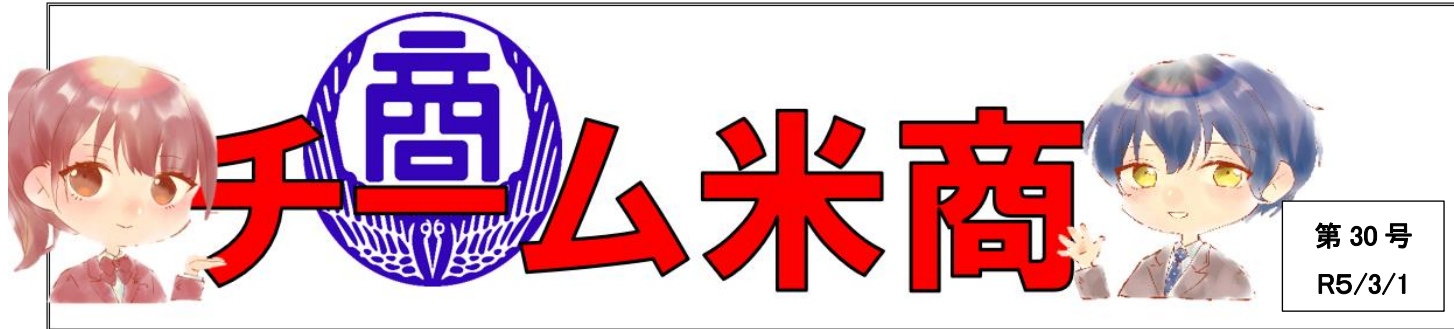




第 30 号
R5/3/1

文責 校長伊藤

祝！第120回 卒業証書授与式 102名の卒業生 新たな世界に行ってらっしゃい！

ついにこの日がやってきてしまいました。令和4年度卒業生102名の皆さん。卒業おめでとうございます。

本当に卒業させたくないほど、めんどいめんどい皆さんです。皆さんとは昨年度修学旅行に一緒に行きました。本来ならば USJ のある関西方面への旅でしたが、北陸方面に変更になりました。多少の不満はあったようですが、それよりも修学旅行が実施できる喜びの方が勝っていた感じがしました。我慢の連続が皆さんの高校生活でした。世界中の誰もが経験したことのない新型コロナウイルスとの戦いは3年前に始まりました。

中学卒業前の2月末に全国一斉の臨時休業、高校入試は見えない不安との戦いの中での実施。合格はしたものの入学式も行えず、分散登校や日々の健康観察。濃厚接触者がいれば臨時休業して学校内を消毒する。あの頃は半年くらいすれば平常に戻るだろうと誰もが思っていました。事実、春の選抜大会が中止となり「夏はがんばろう」と言っていたのに、甲子園大会に限らず高校生の全ての全国大会が中止となりました。それでも次の年には平常に戻るだろうと考えている人が多数でした。そして3年経った今、ようやく少したけ元に戻りつつあります。長い長いトンネルの先に光が見えた気がします。

昨日卒業式練習で3年ぶりに全校生で校歌を歌いました。3年生も卒業式に入学後初めて校歌を歌いました。泣けるほど感動しました。校歌の一つ一つの歌詞が心に沁みました。3年生の皆さん。卒業生の皆さん。本当によく我慢した3年間だったね。その我慢の中で、日々の学習に検定勉強。マスクをしての部活動。競技スタイルをコロナ様式にしたクラスマッチ。換気や消毒をしながらの鶴城祭。考えてみれば本当によくやってくれました。最初で最後の芋煮会は、とても楽しそうな顔でした。

春の米商 中庭の八重桜の下で花見とインスタ映え写真を撮る生徒

夏の米商 アイスパンを買いに猛ダッシュ クラスマッチのTシャツはこれからいつ着るんだろう

秋の米商 遅くまで残る季節 その理由は鶴城祭 面接練習 そして数字が合わない総合実践

冬の米商 ひざ掛け 埴輪スタイル 先生とのバトルが続く だから黒スラックス履いてください

こんな他愛もない春 夏 秋 冬が今は愛おしくて仕方ないことでしょう。

明日からは高校生活の思い出はいったん心の奥にしまって 春からの出逢いに胸を躍らせてください。

それでは令和4年度米商第120回卒業生の102名の皆さん 新たな世界に 行ってらっしゃい！

校長式辞のキーワード チーム米商顔晴ろう！

皆さんを2ヶ月に1回鼓舞する言葉

4・5月 協力は強力

6・7月 情熱は磁石

8・9月 挑戦は成長

10・11月 運を引き寄せる

12・1月 奇蹟は起こされるのを待っている

2・3月 ドアの向こうに夢があるなら

ドアがあくまで叩き続けろ



